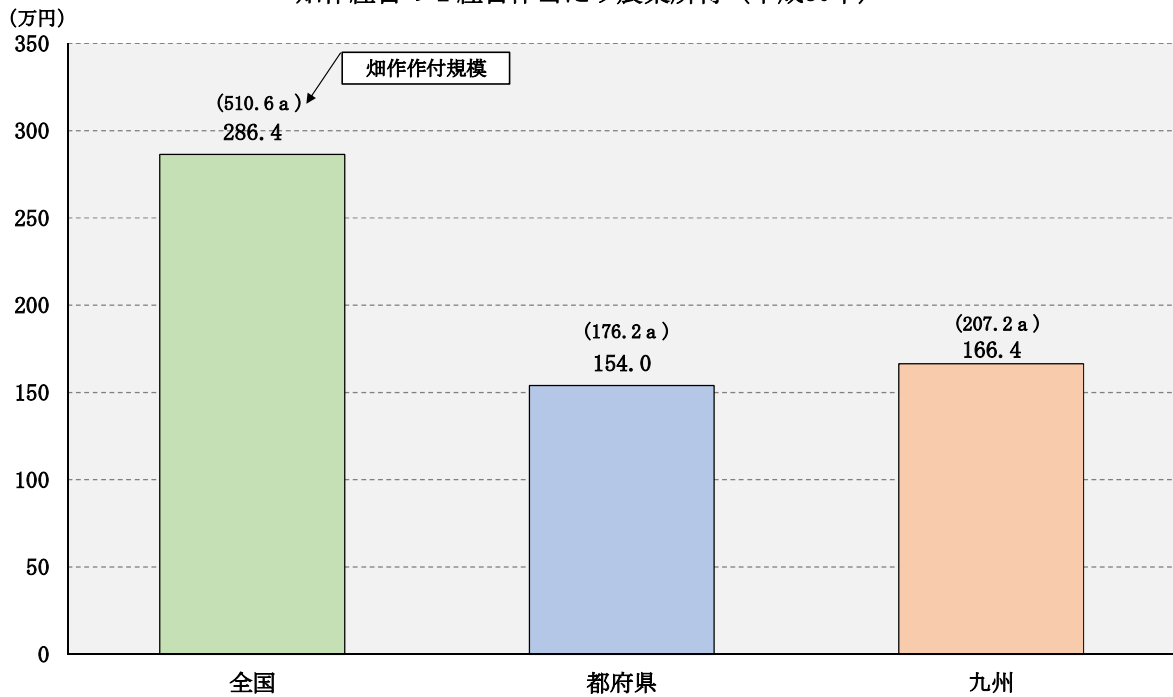


6 畑作経営の収益性（個別経営）

（1）1経営体当たり農業所得の比較

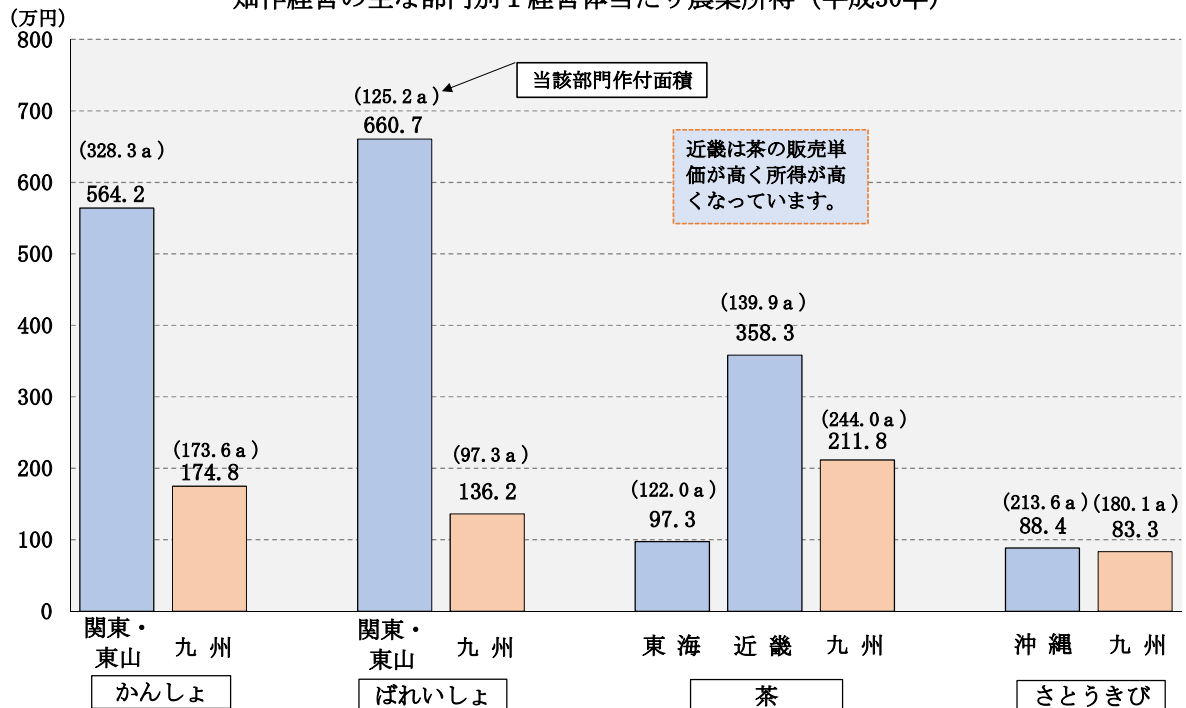
- 九州の畑作経営の農業所得は166万円で、全国を下回っているが、都府県と比較すると、作付規模及び農業所得とも上回っている。
- 九州の主な経営部門別農業所得は、茶作が211.8万円、かんしょが174.8万円となっており、他の農業地域と比較すると低い額となっている。

畑作経営の1経営体当たり農業所得（平成30年）



資料：農業経営統計調査（営農類型別経営統計）

畑作経営の主な部門別1経営体当たり農業所得（平成30年）



資料：農業経営統計調査（営農類型別経営統計）

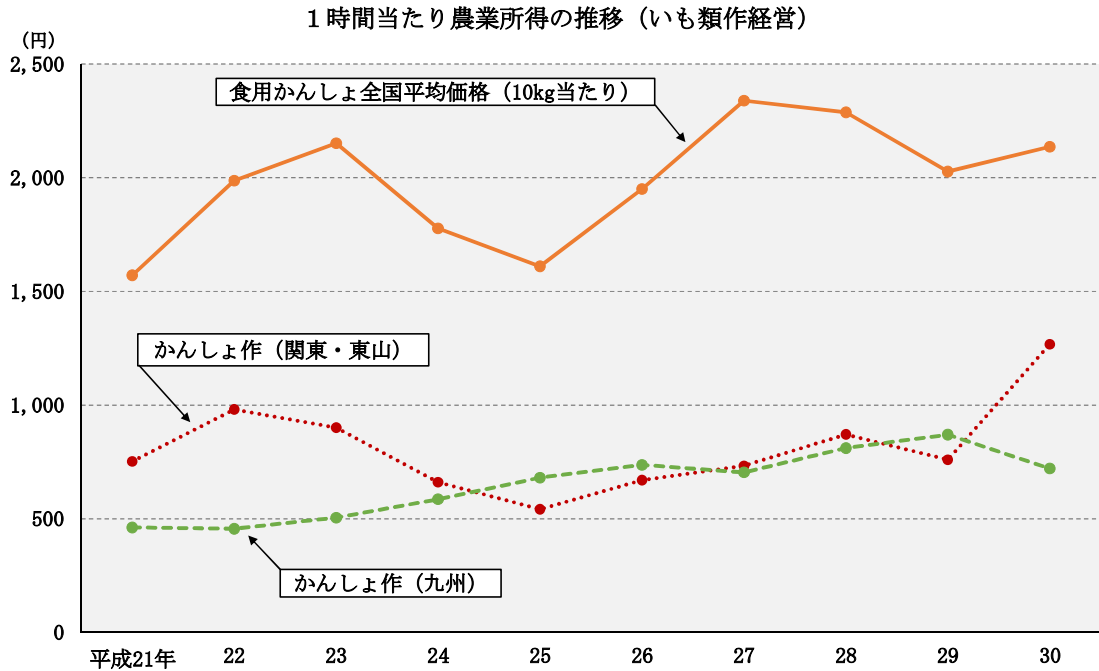
6 畑作経営の収益性（個別経営）

（2）主な作目別の農業所得の推移

ア いも類

・かんしょ

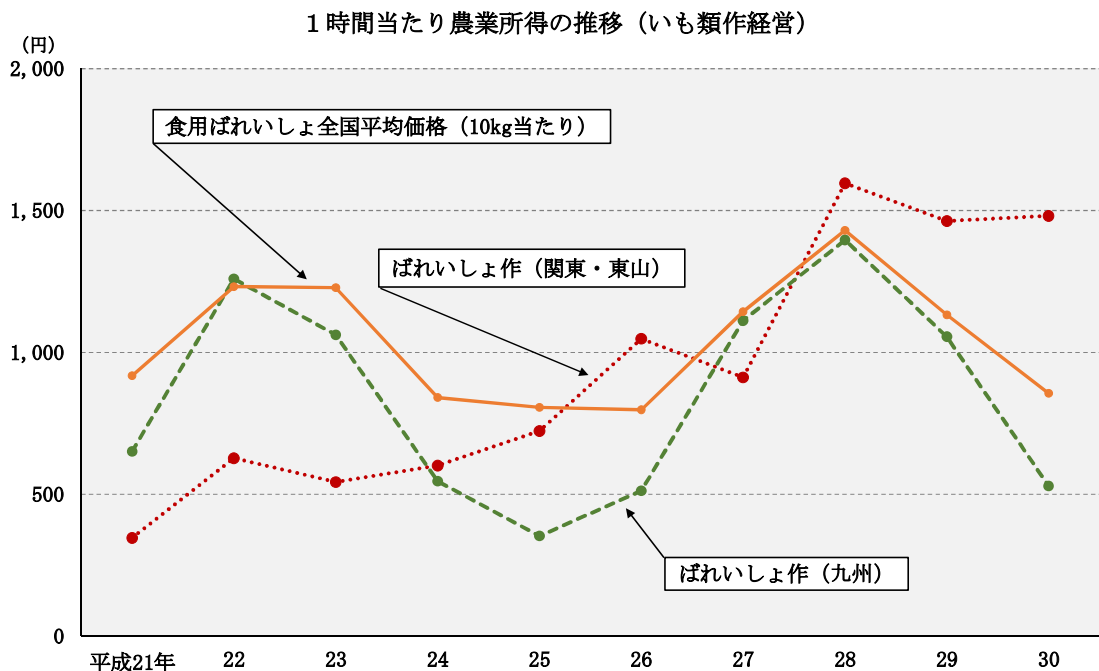
○平成25年から九州と関東・東山の1時間あたり農業所得は均衡していたが、平成30年の九州は、500円以上の低い額となっている。



資料：農業経営統計調査（営農類型別経営統計）、農作物価統計
注：いも類作を主とする経営の経営全体の数値です。

・ばれいしょ

○平成30年の九州のばれいしょの1時間当たりの農業所得を関東・東山と比較すると、1,000円近い低い額となっている。



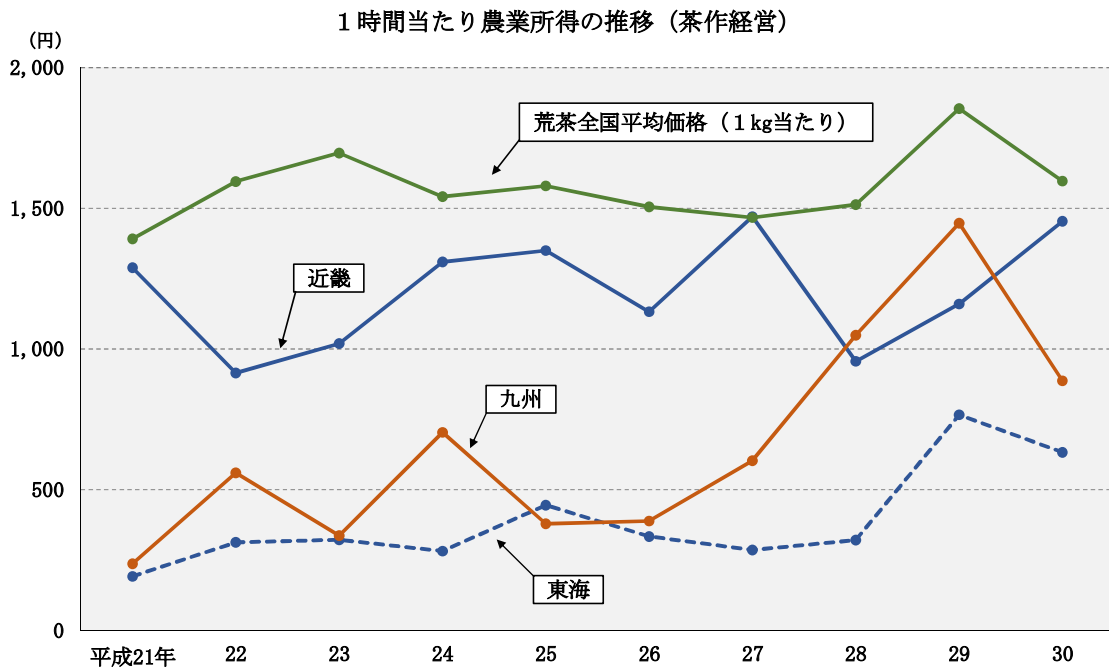
資料：農業経営統計調査（営農類型別経営統計）、農作物価統計
注：いも類作を主とする経営の経営全体の数値です。

6 畑作経営の収益性（個別経営）

（2）主な作目別の農業所得の推移（つづき）

イ 茶

○九州は機械の導入が進んだこと等により農業所得が上昇してきたが、平成30年は荒茶の価格低下により減少。



資料：農業経営統計調査（営農類型別経営統計）、農業物価統計
注：茶作を中心とする経営の経営全体の数値です。

（参考1） 茶の乗用型摘採機の導入状況（令和元年度）

	台数	導入面積	導入割合
	台	ha	%
静岡県	3,547	10,461	65.8
鹿児島県	1,413	8,192	97.5
京都府	110	288	18.4
愛知県	79	239	46.3
計	7,026	24,508	60.4

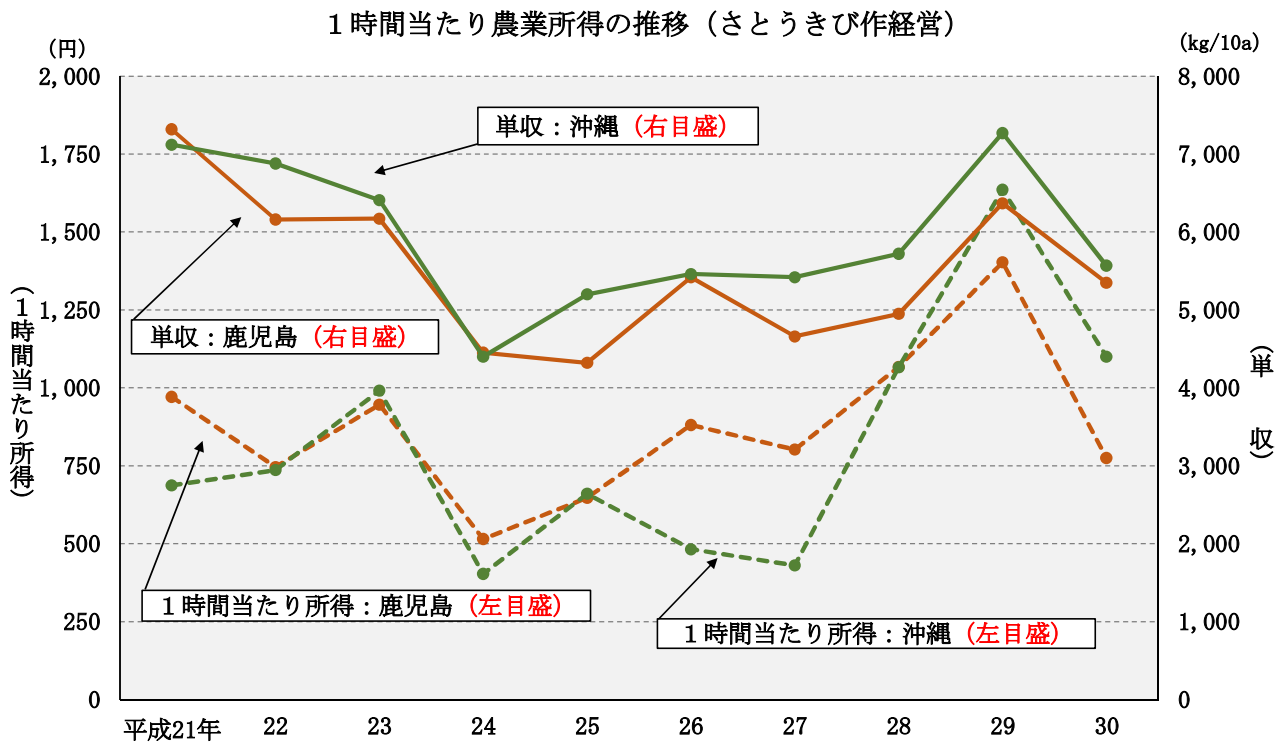
資料：農林水産省「茶をめぐる情勢」（農林水産省調べ）

6 畑作経営の収益性（個別経営）

（2）主な作目の農業所得の推移（つづき）

ウ さとうきび

○農業所得は単収に連動しており、近年は機械（ハーベスタ）収穫率が高まり、1時間当たり農業所得は上昇していたものの、平成30年は相次ぐ台風の通過により茎葉の損傷や倒伏被害が発生し、単収が大幅に減少したことから低下。



資料：農業経営統計調査（営農類型別経営統計）、作物統計（作況調査）

注：1 さとうきび作を中心とする経営の経営全体の数値です。

2 営農類型別経営統計は1月～12月の1年間を調査しており、各年次の単収はそれに対応する前年産の単収を表示。

（参考2） さとうきび ハーベスタによる収穫率の推移

単位：%

	H. 19	20	21	22	23	24	25	27	28
鹿児島県	68	72	77	83	84	85	86	88	90
沖縄県	39	41	42	43	47	53	56	59	68
全国	52	55	58	61	64	67	69	71	77

資料：農林水産省「砂糖及びでん粉をめぐる現状と課題について」（鹿児島県、沖縄県調べ）